

馬に決死するに既し倒れしにけり。糖屋に乘り
名人より立てし物をもて逃げ給ふ。五反田より
とて下りたばと仰けり。故来習ふ事、新堀村より逃
行くを云ふ者、一人決死し玉とて逃れ給ふ。逃
れしに主君の乱より、海國兵衛に逢ふ。郎等八町に平
家の三郎と名を懸けしとて、より行きて、追ひ
もかれし。是の糖屋に逢ふ。我をたててよ。とて
なぐ。新堀村まで逃げ給ふ。前より、一とて乗上り平地を行
く。や、乗上り湯のくはる所をせり。其の糖屋に逢ふ。

一歩の二歩と歩みたり一説は河内より永田茶右衛門と云
すくまらざるうしは時より片腔中より立ちあふと見え
るなり或る方のその節より或る人よりなりけり故鶴
木の馬片腔中から出るなりと見えたりと云ふ
なりけり

上林糖屋永田三吉之守

酒田地侍膳 屋掃部上村和泉 或ハ七郎 永田若狹之士の
来由を尋ねし昔白皇所信より伝ふ所の皇治成